



兵庫県公立大学法人 兵庫県立大学大学院

# 地域資源マネジメント研究科

*Regional*

## TOYOOKA GEO & KOUNOTORI CAMPUS

コウノトリ舞う、山陰海岸ジオパークの地で  
地域資源マネジメントを学びませんか？

*Resource*

地域資源マネジメント研究科は、「地域に内在する自然・社会・文化の  
つながりを科学的に解明し本質的に理解する素養を身につけ、  
地域資源の発掘・保全・活用を実行できる人材の育成」を目的としています。

全国でも貴重な地域資源（コウノトリ・ジオパーク等）が存在する  
兵庫県但馬地域を主なフィールドとし、  
2014年4月にスタートしました。

*Management*





## 研究科長メッセージ

一面に広がる田園、むこうの山裾に点在する民家、その上空に舞うコウノトリ——私たちの校舎の窓からは、こうしたのどやかな風景を一望のもとに眺めることができます。

但馬固有の地形地質が育んだ生態系や自然環境のなかで、コウノトリは生息してきました。人間との関わりのなかで時に絶滅の危機に瀕しつつも、現在は人間の手によってふたたび野生への復帰がはかられています。大地・自然・人間は正負さまざまな関係を取り結びながら、現在に至るまで持続してきました。校舎からみえる風景とは、まさにそれが凝縮されたものなのです。

私たちの研究科は、大地・自然・人間のつながりを地域（フィールド）から学び、地域の大事な資源として未来へ受け継ぐ手立てを考えることを目的としています。小さいながらも地球科学から生態学、人文社会科学まで幅広い分野の教員が集い、社会人も含めた幅広い世代の学生がともに学んでいます。

人間がつくったさまざまな垣根を気にもせず悠然と大空を舞うコウノトリのように、私たちも学問や世代の垣根を飛び越える自由な知の世界を但馬に築きたいと考えています。自然豊かなキャンパスで、私たちと一緒に地域資源を学んでみませんか？



地域資源マネジメント研究科長

中井 淳史







## 新たな学問体系 「地域資源マネジメント」による 人材の輩出

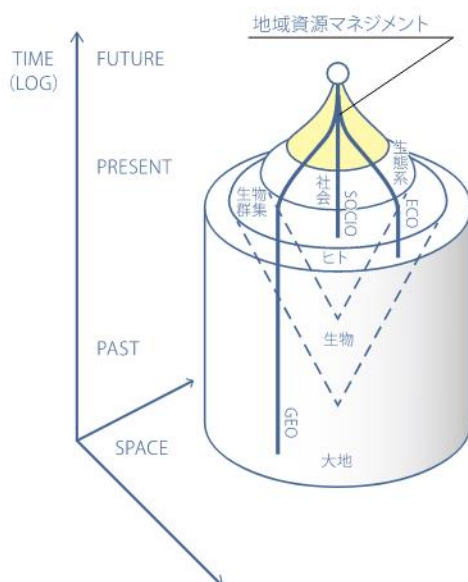
### 地域資源マネジメントとは

コウノトリと山陰海岸ジオパークはもともと「自然資源」ですが、現在では貴重な「社会・文化資源」でもあります。伝承・活用・保全の長い歴史をもち、地域における「自然・社会・文化のつながり」が科学的に解明されているからです。地域の歴史に裏づけをもつ「地域資源」は日本全国に存在するはずであり、本研究科のマネジメントとは「地域資源のワイズユース」により地域社会の発展に貢献することを意味します。

### 本研究科の目指すもの

地域資源マネジメント研究科は、地球科学（ジオ）・生態学（エコ）・人文社会科学（ソシオ）という三つの学問分野を基盤としています。これらはそれぞれ大きく異なる時間スケールを扱っていますが、「地域の歴史」という縦軸と「地域社会」という横軸を共有することにより、自然・社会・文化のダイナミックな関係性を構造的に理解し解明する新たな視座「人と自然に関する高度な教養」が生まれます。

本研究科は、この教養を基盤理論とし、各学問分野のあつかう素材を地域社会再生の地域資源と捉え、地域との連携・協働を通して持続可能な地域社会づくりを実現するスキルを有する人材、つまり「健全な地域生態系・地域社会を再生する理論と実践能力」を兼ね備えた人材を育成します。



地域資源マネジメントの概念図

## 博士前期課程

### 学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

兵庫県立大学のポリシーに加え、地域における自然・社会・文化のつながりと関係性に関心をもち、本研究科の理念を理解し、将来的に地域資源マネジメントに携わる能力と意欲に満ちた学生を自然科学系や人文社会科学系など幅広い分野から受け入れます。

#### 具体的なイメージ

##### ① 知識・技能

地球科学・生態学・人文社会科学に代表される地域資源の利活用に関連した学問分野の基礎的な知識と技能を有し、その発掘を求める人

##### ② 思考力・判断力・表現力

人と自然に関する幅広い教養にもとづき、地域資源のワイズユースについて多面的に思考し、それを表現する能力を有し、その発掘を求める人

##### ③ 主体性・多様性・協働性

地域の多様な主体との協働にもとづき、持続可能な地域の発掘に貢献する意欲がある人

すでに実務につきながら、さらにその専門性の向上を目指す、あるいは専門分野をベースとしつつも、その周辺領域を含めた知識・技術の総合化・体系化によって、より一層のキャリアアップを目指す、4年制大学を卒業もしくは同等の学力があると認められる社会人経験者や留学生も受け入れます。

### 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

地域資源マネジメントの土台をつくる「基盤科目」、方法論と実践能力を培う「共通演習科目」、分野を越えた構造的な理解力を培う「専門科目」の3段階のカリキュラム体系とします。そして、各段階に、統合を志向する分野横断的な科目群と、統合の材料として必要な各分野の高度な基礎理論を提供するベーシックな科目群を配置します。

### 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

本研究科における体系的学習を通して、地域に内在する「自然・社会・文化のつながりと関係性」を科学的に解明し、構造的に理解・認識する能力、つまり「人と自然に関する高度な教養」を身につけた上で、住民との連携・協働のもと、成果を地域に還元することのできる能力を身につけた者に学位を授与します。

#### （専門知識・技能）

- DP1. 知識：地域資源マネジメント学を実践できる知識と研究能力
- DP2. 創造的な課題解決力：地域資源マネジメント学の立場から創造的思考を用いて地域の諸課題を分析し理解できる能力
- DP3. 学際性：複数の学問領域から課題に対応しようとする意識

#### （汎用的知識・技能）

- DP4. 人間性：研究と実践における高い倫理観と責任感
- DP5. コミュニケーション能力：専門的な知見を、社会にわかりやすく伝える能力
- DP6. 国際性・地域性：国際社会や地域社会に向けて貢献しようとする意識

#### 3) 専門科目：分野を越えた構造的な理解力を培う



#### 2) 共通演習科目：方法論と実践能力を培う



#### 1) 基盤科目：地域資源マネジメントの土台づくり





## カリキュラム構成

- 博士前期課程 標準修業年限：2年  
○修了要件単位数：32単位以上

|                                                                              |                                                                                                                           |                                                                               |                                                                                                             |                                                   |
|------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| <div>博士後期課程(標準修業年限:3年)</div> <div>学位:博士(学術)</div>                            |                                                                                                                           |                                                                               |                                                                                                             |                                                   |
| <div>修士(学術)の学位取得</div>                                                       |                                                                                                                           |                                                                               |                                                                                                             |                                                   |
| <div>※教授会での決定</div> <div>学位論文の審査 ※学位論文審査委員会にて可否の審議</div> <div>※修士論文発表会</div> |                                                                                                                           |                                                                               |                                                                                                             |                                                   |
| 2年次後期                                                                        |                                                                                                                           | <b>専門科目</b><br>必修 2単位 *<br>選択 6単位以上<br>[修了要件8単位以上]                            | <b>共通演習科目</b><br>選択必修 1単位以上 +<br>選択 3単位以上<br>(選択しなかった「選択必修」を<br>選択科目に含むことができる)<br>[修了要件4単位以上]               | <b>特別研究</b><br>必修 8単位 *<br><br>特別研究II * (4)       |
| 2年次前期                                                                        |                                                                                                                           | 地域資源マネジメント論 * (2)<br>地域社会マネジメント論 (2)<br>生物多様性マネジメント論 (2)<br>地形地質資源マネジメント論 (2) | 地形地質フィールドワーク2 (1)<br>生態学フィールドワーク2 (1)<br>地域社会フィールドワーク2 (1)<br>サイエンス<br>コミュニケーション演習2 (1)<br><br>地域資源特別演習 (1) | 特別研究I * (4)                                       |
| 1年次後期                                                                        | <b>特別演習科目</b><br>自然科学特別ゼミナール (2)<br>社会科学特別ゼミナール (2)                                                                       |                                                                               |                                                                                                             | <b>特別ゼミナール</b><br>必修 4単位 *<br><br>特別ゼミナールII * (2) |
| 1年次前期                                                                        | <b>基盤科目</b><br>必修 2単位 *<br>選択必修 2単位以上 +<br>選択 4単位以上<br>[修了要件8単位以上]<br><br>地域システム概論 * (2)<br>ジオパーク概論 + (2)<br>野生復帰概論 + (2) | 地質資源とジオパーク (2)<br>田園生態資源論 (2)<br>社会文化資源論 (2)                                  | 地形地質フィールドワーク1 (1)<br>生態学フィールドワーク1 (1)<br>地域社会フィールドワーク1 (1)<br>サイエンス<br>コミュニケーション演習1+ (1)                    | 特別ゼミナールI * (2)                                    |

## 博士後期課程

博士後期課程では、地域資源マネジメントの方法をもちいた実践を通じて、オリジナリティに富んだ人と自然の関係論を構築します。さらにこの新たな関係論とマネジメントの相互作用により、実効性のある地域資源マネジメントを可能とする「地域資源マネジメント学の構築」に貢献できる「実践的科学者」を育成します。



## 教員スタッフ

### 〔エコ研究領域〕



**佐川 志朗 教授** (水域生態学・応用生態工学)  
生態学、応用生態工学をベースに、水生生物の保全および河川や湿地の自然再生に関する研究をしています。



**内藤 和明 教授** (植物生態学・保全生態学)  
野外および実験室で半自然植生や絶滅危惧生物の保全に関する研究を行っています。



**出口 智広 准教授** (行動生態学・保全生態学)  
山階鳥類研究所で培った経験をもとに、絶滅の危機にある鳥類の行動生態や保全生態の研究を海外の機関と協力して進めています。



**布野 隆之 准教授** (動物生態学)  
希少鳥類の生態を解明し、その特性を考慮した保全策の構築に関する研究を行っています。また、研究成果を様々な鳥類の保全に応用することを目指しています。

### 〔ジオ研究領域〕



**川村 教一 教授** (地球惑星学)  
“Geology underlies everything!” ジオパーク、文化地質、地学教育、自然災害教育など、地域の豊かな暮らしにつながる研究に、地球科学の視点からとらえています。



**松原 典孝 講師** (地域地質学・堆積学)  
地質学をベースに、ジオパークの基礎的研究および大地と人々の暮らしの関連性解明にかかわる研究をしています。



**佐野 恭平 講師** (火山学・岩石学)  
地球科学の中でも火山学・岩石学をベースに、大地の成り立ちを明らかにする研究や大地と人々の暮らしの関連について研究しています。

### 〔ソシオ研究領域〕



**中井 淳史 教授** (地域歴史学)  
土器・陶磁器の生産や流通、山岳寺院や石造物の調査研究など日本の中世を対象とした考古学を専門としています。



**山室 敦嗣 教授** (地域社会学・環境社会学)  
社会学を基盤に、地域住民組織の調査研究をつうじて地域社会のあり方を探究しています。



**矢ヶ崎 太洋 准教授**  
(地理学・地域計画学)  
地域資源の活用や地域の課題について、地理学や地域計画学の視点から研究に取り組んでいます。



専任教員が10名という小規模の利点を活かした、複数教員による共同講義での、教員と学生が一体となった分野横断のディスカッションを重視しています。また、選択科目には、学内兼任教員や他大学等の非常勤講師を配置し、実践的な地域資源マネジメントの修得に必

要な関連科目を開講することにより、幅広い教育体制を構築しています。

専任教員の10名は、兵庫県立コウノトリの郷公園の研究員を併任しており、コウノトリ野生復帰や山陰海岸ジオパーク推進の学識を担っています。



## 学生の声

### 〔一般学生〕

**受験のきっかけ** 所属していた研究室の先生に、この研究科とその先生を紹介してもらったこと。

**受験対策** コウノトリ野生復帰ランドデザイン、及び関連する論文に目を通す。そこから実際に文章を作っておく。

**学生生活について思うこと** 自然が豊富で近くに自然観察路という登山コースの様なものがあり、前には水路が流れているため、昼休みに山に入ったり、水辺観察が出来て楽しい。

**おすすめできるところ** 様々な年齢、立場の人が学生なので、色々な話が聞けるので面白い。僕の所属している分野は、現在学生2名、先生4名ということもあり、ゼミの内容が濃い。

**興味深い授業や演習** 入ってまだ1年ですが、サイエンスカフェという催しで、他大学大学院の2年生の話を聴き、そこからディスカッションしたことが面白かった。農業を生態学という観点からしか見てこなかったが、農業従事者の声を現場でインタビューした方から話を聞くことができ、視野が広がった。

**将来どのように活かしたいか** 研究の成果は現場にフィードバックさせていきたいと思います。研究により培った知識や経験は、修了後に自分と違う分野、立場の人達との関わりや、現場での活動等に活かしたい。

**受験希望者に一言** 3つの分野が複合した研究科ですが、自分の分野は深く研究していけるので、社会との関係に興味があり生き物大好き!という方には特におすすめします。

### 〔社会人学生〕

**受験のきっかけ** 先生とのつながり、県中学校理科研究会、サイエンスライやる事業。

**受験対策** 小論文対策、ジオやラムサール条約関連のホームページ。

**おすすめできるところ** 広い分野について、総合的に学ぶことができる。

**興味深い授業や演習** フィールドワークでは、楽しい中に充実した学びがあります。

**将来どのように活かしたいか** 生徒への指導に活かすこともあります。

**受験希望者に一言** 一緒に学びましょう!

### 〔特別選抜(推薦)学生〕

**受験のきっかけ** 自分の住む中山間地域において、持続性のあるまちづくりのための理論や方法を勉強したいと考えていたところ、職場(市役所)内で選抜推薦の話があり、研究科の理念が自分の興味に合致すると感じたため受験した。

**受験対策** 自分のまちにおける地域課題を踏まえ、研究科でどのような研究がしたいかを整理した。あわせて、自分のこれまでの活動を振り返り、研究とのつながりを整理した。

**学生生活について思うこと** 立地も含め、落ち着いて勉強に取り組める環境にある。

**おすすめできるところ** 少人数のため、学生と先生方の距離感が近い。また、ジオ・エコ・ソシオという異なる分野がありながら、お互いの距離が近いので、自分の専攻以外の分野に身近に接することできる。

**興味深い授業や演習** 但馬を中心に身近な地域をフィールドにした演習は、どれも楽しく興味深いです。

**将来どのように活かしたいか** 職場での仕事、あるいはプライベートでの活動を通じて、自然に恵まれた美しいわがまちを、次の世代に受け継ぐことに貢献したい。

**受験希望者に一言** 一緒に、地方のまちづくり、地域づくりを学びましょう。

## 修士論文タイトル例

### GEO 【ジオ分野】

- ・ジオツーリズムの現状と方向性～山陰海岸ジオパークを事例に～
- ・兵庫県北部但馬御火浦に分布する中新世火山岩類・碎屑岩類の形成過程と古環境

### ECO 【エコ分野】

- ・コウノトリのなわばりと共同採餌場-ペア生活の1年-
- ・兵庫県北部の異なる農法水田における陸生および水生動物群集-コウチュウ目とアカネ属の生息に寄与する要因-

### SOCIO 【ソシオ分野】

- ・農山村における女性の地域参画と地域自治組織の可能性-兵庫県養父市「出合校区協議会」を事例に-
- ・農村地域における生活環境保全の集落連携-兵庫県豊岡市田鶴野地区を事例に-

## 就職先例

豊岡市役所  
山陰海岸ジオパーク  
推進協議会専門員  
公益財団法人  
日本野鳥の会  
環境コンサルタント  
会社など  
福知山公立大学(教員)  
京都教育大学(教員)

4年間、土日に  
通うだけでも  
修了可能!

### 〔社会人も学びやすい仕組み〕

#### 【長期履修制度】

職業を有している等の事情により標準修業年限では教育課程の履修が困難な場合、事情に応じて標準修業年限を超えて(3年以上4年まで)、計画的に教育課程を履修し修了することにより、学位を取得することができる長期履修制度を設けています。授業料の総額は一般履修と同じです。

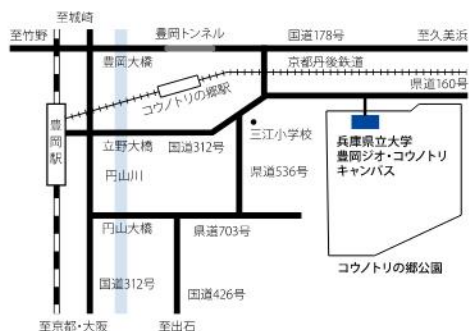
#### 【授業時間割】

木曜～日曜に開講。主な授業を木金土に開講し、毎年、開講曜日をずらします。このことにより、長期履修制度を活用している社会人学生が、土日に通学するだけで、全科目を履修できるようにしています。

## 入試情報

|                                             |             |                                                                                                                     |                                 |
|---------------------------------------------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
|                                             | [ 募集人員 ]    | 博士前期課程 12名<br>博士後期課程 2名                                                                                             | 一般選抜、推薦、特別推薦の合計。                |
|                                             | [ 選 抜 方 法 ] | 専門試験（小論文形式）と口述試験。<br>※出願にあたっては指導予定教員の承諾書が必要で、事前に面談をしてもらいます。                                                         |                                 |
|                                             | [ 会 場 ]     | 豊岡会場か神戸会場を選択できます。（推薦と特別推薦は豊岡会場のみ）<br>豊岡会場：本学豊岡ジオ・コウノトリキャンパス<br>神戸会場：本学神戸商科キャンパス                                     |                                 |
|                                             | [ 入 試 日 程 ] | 博士前期課程<br>推 薦：7月上旬<br>A日程：8月下旬<br>B日程：12月中旬<br>C日程・特別推薦：3月上旬                                                        | 博士後期課程<br>第1回：8月下旬<br>第2回：3月上旬  |
|                                             |             | ※正確な入試情報は学生募集要項を確認ください。<br><a href="http://www.u-hyogo.ac.jp/rrm/">http://www.u-hyogo.ac.jp/rrm/</a> に適宜公開いたします。    |                                 |
| 学 費<br>(博士前期課程)<br>(博士後期課程)<br>※2025年の金額です。 | [ 入 学 料 ]   | 兵庫県内在住者・内部進学者：282,000円<br>その他のもの：282,000円                                                                           |                                 |
|                                             | [ 授 業 料 ]   | 年 額：535,800円                                                                                                        | ※別途、実習費用を含めた教育充実費が必要になる場合があります。 |
| 奨 学 金・<br>授 業 料 減 免<br>※2025年の金額です。         | [ 奨 学 金 ]   | 日本学生支援機構奨学金<br>大学院 第一種奨学金(無利息)貸与月額：50,000円／88,000円<br>大学院 第二種奨学金(利息付)貸与月額：50,000円～150,000円<br>各都道府県・市・民間団体等による奨学金制度 |                                 |
|                                             | [ 授業料無償化 ]  | 県内在住の方は、授業料を無償化する制度があります。<br>(くわしくは、大学HPをご覧ください)                                                                    |                                 |
|                                             | [ 授業料減免 ]   | 経済的な事情により授業料の納付が困難な学生に対し、減額または免除する制度があります。(くわしくは、大学HPをご覧ください)                                                       |                                 |
|                                             | [ 住 宅 ]     | 近隣に学生向けの公営住宅があります。                                                                                                  |                                 |
|                                             |             |                                                                                                                     |                                 |

英語の試験はありません！



JR山陰本線 豊岡駅より全但バス「法花寺」、「コウノトリの郷公園」行き乗車、10分。「コウノトリの郷公園」下車。

### 【問合せ先】

## 兵庫県立大学 豊岡ジオ・コウノトリキャンパス

〒668-0814 兵庫県豊岡市祥雲寺128(兵庫県立コウノトリの郷公園内)

Tel.0796-34-6079 Fax.0796-22-5200

E-mail: [rrm@ofc.u-hyogo.ac.jp](mailto:rrm@ofc.u-hyogo.ac.jp)

<http://www.u-hyogo.ac.jp/rrm>

